

第六講座 エントリーシート
 [本講座]エピクロスとストア派の自然観
 [プラス講座]ローマのストア派

[主要推奨文献]

[6あ]内山勝利編集責任 『哲学の歴史2 帝国と賢者』 中央公論新社

[6い]ディオゲネス・ラエルティオス※著 加来彰俊訳

↓ 『ギリシア哲学者列伝』 岩波文庫

※この著者「ディオゲネス」は講義でとりあげた「犬儒派のディオゲネス」とは別人です。

[6う]マルクス・アウレリウス著 神谷恵美子訳 『自省録』 岩波文庫

[6え]エピクテトス著 鹿野治助訳 『人生談義(上・下)』 岩波文庫

レポート②用選択テーマ	
テーマ 整理番号	テーマ内容
6-1	◎エピクロスの原子論 講義録項目<6A>に関連 エピク罗斯は、宇宙の成り立ちを原子だけで説明できるとする。その原子論的説明の内容または、宇宙の秩序についての考えはどのようなものであるか。推奨文献関連箇所[6あ]p87-102
6-2	◎エピクロスによる快樂の価値づけ 講義録項目<6B~C>に関連 エピク罗斯は「快苦の感覚を知る」ということをどのように位置づけたか。また、快樂の種類分けをどのように考えたか。推奨文献関連箇所[6あ]p70-76
6-3	◎「(シノペの)犬儒派ディオゲネス」の人間像 講義録項目<6D>に関連 犬儒派の哲学者ディオゲネスはどのような生き方をした人で、思想信条はいかなるものであったか。 推奨文献関連箇所[6い]p127-182
6-4	◎ストア派の「自然に従って生きよ」 講義録項目<6E~F>に関連 ストア派の説く「自然に従って生きよ」はいかなる生き方であるか。また、どのようなありかたを「幸福」だと考えたか。推奨文献関連箇所[6あ]p157-174
6-5	◎ローマのストア派の名言と人生観 講義録項目<6I>に関連 マルクス・アウレリウスまたはエピクテトスはどのような名言を残し、それはいかなる人生観を示唆するものであるか。推奨文献[6う][6え]

↑レポート②タスク[あ]には、自分が選択したテーマの赤枠内の整理番号(例：6-3)を明記してください。

レポートで文献参照する場合、上記の推奨文献を用いる場合は、レポート末尾に記号を用いて[6あ]等の仕方で表示できます。

第七講座 エントリーシート

[本講座]プロティノスの宇宙観 —プラトン主義者として—

[プラス講座]ヨーロッパ世界におけるキリスト教

[主要推奨文献]

- [7あ]内山勝利編集責任 『哲学の歴史2 帝国と賢者』 中央公論新社
- [7い]武藤一雄 平石善司編 『キリスト教を学ぶ人のために』 世界思想社
- [7う]水地宗明他編 『新プラトン主義を学ぶ人たちのために』 世界思想社
- [7え]田中美知太郎責任編集
『世界の名著 15 プロティノス ポルピュリオス プロクロス』 中央公論社

レポート②用選択テーマ	
テーマ 整理番号	テーマ内容
7-1	◎プロティノスの「三つの原理」 講義録項目[7B]に関連 プロティノスの考える「三つの原理」とは何で、それぞれがどのように関わり合いながら宇宙の秩序が展開しているとするのか。 推奨文献関連箇所[7あ]p539-553 [7う]p59-93 [7え]収録作品「三つの原理的なもの(第Ⅴ論集第一論文)」
7-2	◎プロティノスの「知性、一者に向ける努力」 講義録項目[7C][7D]に関連 プロティノスはわれわれの魂をいかに上位のもの(知性、一者)にどのように向けるべきだと考えているのか。 推奨文献関連箇所[7あ]p529-538 [7う]p59-93 [7え]収録作品「三つの原理的なもの(第Ⅴ論集第一論文)」 「善なるもの一なるもの(第ⅤⅠ論集第九論文)」
7-3	◎プロティノスの人間観 講義録項目[7E][7F]に関連 プロティノスは身体をもつ個別者としての人間がいかに生きることが自由、幸福であると考えたか。宇宙観にふれてもよい。 推奨文献関連箇所[7う]p94-115 [7え]収録作品「幸福について(第Ⅰ論集第四論文)」 「グノーシス派に対して(第Ⅱ論集第九論文)」
7-4	◎古代キリスト教(四世紀頃まで)の波紋 講義録項目[7H][7I]に関連 イエスの生涯が教えに帰依する人達の心にどのような信をもたらしたか。またキリスト教はイエスの死後、どのようにローマ世界に波及したか。 推奨文献関連箇所[7い]p57-68, p58-61

↑レポート②タスク[あ]には、自分が選択したテーマの**赤枠内の整理番号**(例：7-3)を明記してください。

レポートで文献参照する場合、上記の推奨文献を用いる場合は、レポート末尾に記号を用いて[7あ]等の仕方で表示できます。(プロティノスの著作については中央公論社の全四巻の『プロティノス全集』や他の版を用いても構いません。)

[参考]『プロティノス全集(全四巻)』への主要作品の収録巻

「三つの原理的なもの(第Ⅴ論集第一論文)」→第三巻に収録。

「善なるもの一なるもの(第ⅤⅠ論集第九論文)」→第四巻に収録。

「幸福について(第Ⅰ論集第四論文)」→第一巻に収録。

「グノーシス派に対して(第Ⅱ論集第九論文)」→第二巻に収録。

第九講座 エントリーシート
 [本講座]哲学と宗教 —フィチーノ—
 [プラス講座]中世におけるイスラム教

[主要推奨文献]

- [9あ] アウグスティヌス著 服部英次郎 藤本雄三訳『神の国(五)』 岩波文庫
 [9い] 伊藤博明著 『神々の再生』東京書籍
 [9う] タラム・アンサーリー著 小沢千重子訳 『イスラームから見た「世界史」』
 紀伊國屋書店

レポート②用選択テーマ	
テーマ 整理番号	テーマ内容
9-1	◎アウグスティヌスが説く「神の愛」 講義録項目[9B]に関連 アウグスティヌスは神の愛をどのようなものと考え、イエスに帰依するもの はいかなる信仰をもつべきであるとしたか。 推奨文献関連箇所[9あ]p367-496(第二十二巻)
9-2	◎フィチーノによる「哲学と宗教」 講義録項目[9D]に関連 フィチーノは哲学と宗教とをいかなる関係を保つべきものであると考えた か。 推奨文献関連箇所[9い]p82-123
9-3	◎フィチーノの自然観 講義録項目[9E][9F]に関連 フィチーノは自然がいかなる力をもつものと考え、神と結びつけたか。愛や 魔術に関連づけて書いてもいい。 推奨文献関連箇所[9い]p82-123
9-4	◎ムハンマドが説いた教え 講義録項目[9G][9H]に関連 イスラム教えの開祖ムハンマドの説く教えはどのようなものか。また彼の教 えは後継者アルー・バグルおよびそれに続くウマルにどのように引き継がれ 発展をみたか。 推奨文献関連箇所[9う]p61-122

↑レポート②タスク[あ]には、自分が選択したテーマの赤枠内の整理番号(例：9-3)を
 明記してください。

レポートで文献参照する場合、上記の推奨文献を用いる場合は、レポート末尾に記号
 を用いて[9あ]等の仕方で表示できます。(アウグスティヌスの著作については他の訳
 者や出版社によるものを用いても構いません。)